

Creative Smart Recorder

Creative Smart Recorder（以下 Smart Recorder）は録音に最適なソフトウェアで、録音から保存までのプロセスをステップごとに設定するウィザード形式のメニューを備え、初めての方でも気軽に録音できます。入力音を検知して自動的に録音を開始するシンクロ録音機能やスケジュール録音機能、複数のトラックにまたがったファイルの無音部を検知してトラックを分割するトラック分割機能など、音楽録音に便利な様々な機能を搭載しています。また既にお持ちの音楽ファイルのノイズ除去などの処理を行うことも可能です。

本ガイドでは、Smart Recorder の機能のうち、画面の指示に従って進むことでステップ・バイ・ステップで簡単に録音が行える「録音ウィザード」メニューを使用した録音と、録音したファイルのノイズ除去や分割方法について解説します。

ご注意

ライセンス契約の終了に伴い、2016年以降の**Creative Media Toolbox**の新規インストール/アクティベーションでは、MP3ファイル関連の追加コンポーネントのインストールが行え**ません**。そのため、本ソフトウェアにおいてもMP3ファイルを扱うことはできません。

あらかじめご了承ください。

目次

Smart Recorder で録音する	2
[録音ウィザード] パネル	2
ステップ 1/7: 録音レベルの調整	2
ステップ 2/7: 録音時間の指定	3
ステップ 3/7: トラックの録音	4
ステップ 4/7: トラック分割 / クリーンアップの指定	4
ステップ 5/7: トラックの自動分割	5
ステップ 6/7: トラックのクリーンアップ	6
ステップ 7/7: トラックの保存	7

ステップ 1: 録音レベルの調整

Smart Recorder で録音する

▶ Smart Recorder を起動する

1. Windows タスクバー上の [スタート] > [すべてのプログラム / プログラム] > [Creative] > [Sound Blaster 製品名] > [スマートレコーダー] の順にクリックして Smart Recorder を起動します。
2. Smart Recorder は、録音方法に合わせて画面上部のタスクバーに 4 つのパネルを装備しています。本ガイドでは、左から 2 番目の [録音ウィザード] パネルのステップに従っての録音方法を解説します。



[録音ウィザード] パネル

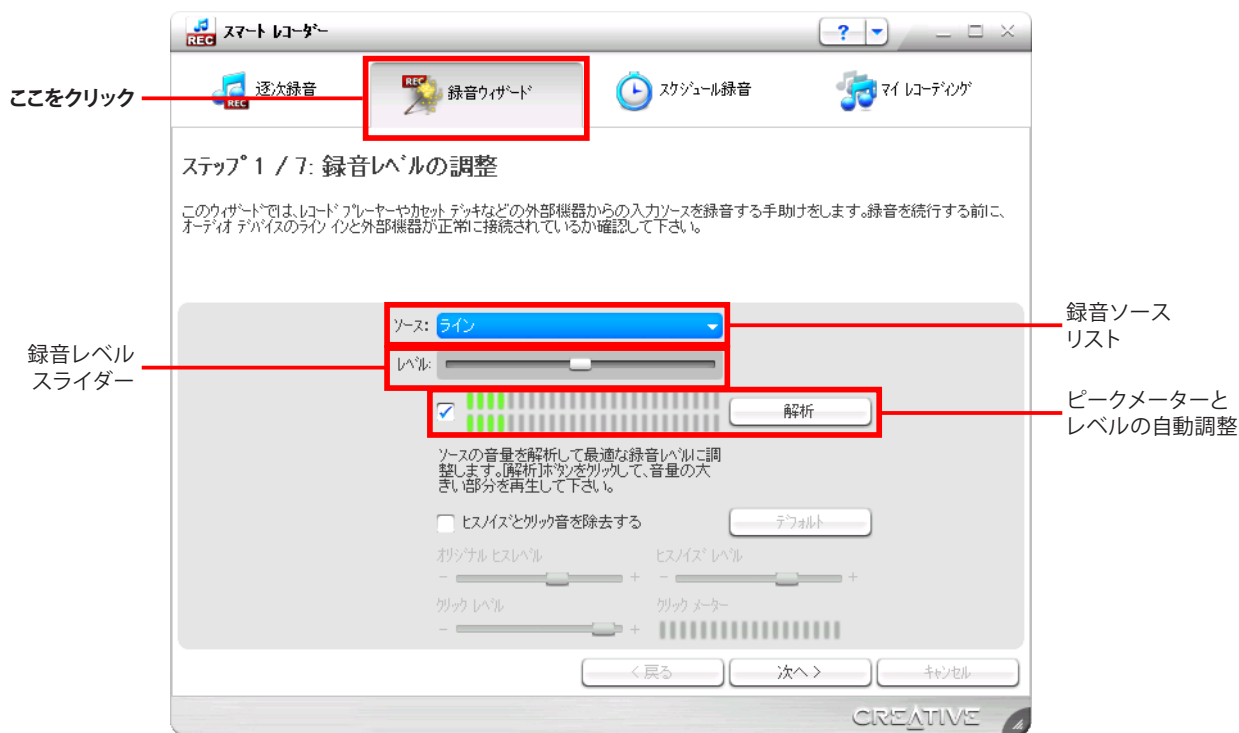
[録音ウィザード] パネルでは、ステップごとに用意された画面に従って録音からファイルの保存までを行うことができる、非常に便利な機能です。またこのウィザードでは、カセットテープ 1 本やレコード 1 枚を丸々録音して、自動的に分割、およびヒスノイズなどを除去することができますので、お持ちのアナログライブラリーの録音には最適です。

▶ [録音ウィザード] パネルを使用して録音する

1. Smart Recorder 画面上部のタスクバーから [録音ウィザード] パネルをクリックします。

ステップ 1/7: 録音レベルの調整

このステップでは、録音ソースの設定と録音レベルの調整を行います。



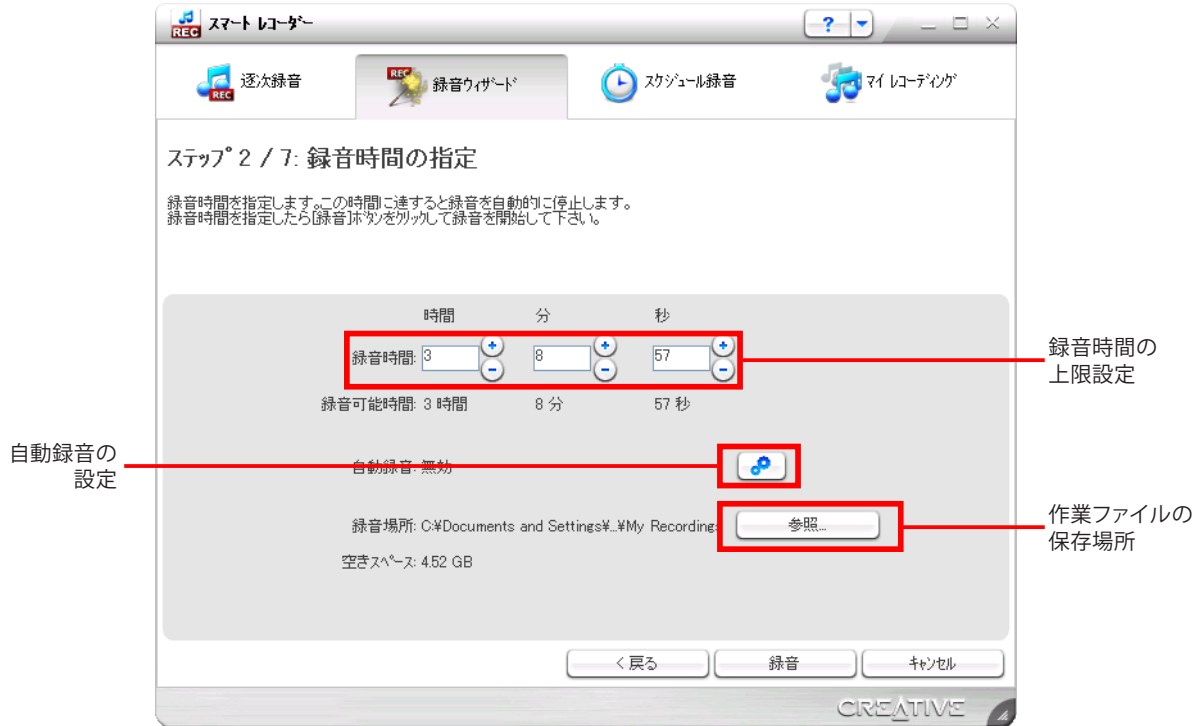
2. [録音ソース] リストから、録音するソースとして再生機器を接続した Sound Blaster の入力端子を選択します。
Sound Blaster Digital Music Premium HD の場合: "マイク"、"ライン入力"、"フォノ入力"、"SPDIF 入力"、"再生リダイレクト" (PC 内のサウンドと入力音を同時に録音する場合) のいずれか
Sound Blaster Easy Record の場合: "ライン"
3. [録音レベルスライダー] を動かして、一番右側までマウスでドラッグし、録音レベルを最大に調節します。もし録音レベルを最大にしても、十分な音量が得られない場合、再生機器側の出力レベルを調整してください。
4. [ピークメーター有効] ボタンをクリックしてチェックを入れることで、ピークメーターで再生中の録音ソースの音量レベルを確認することが出来ます。

ステップ 2: 録音時間の指定

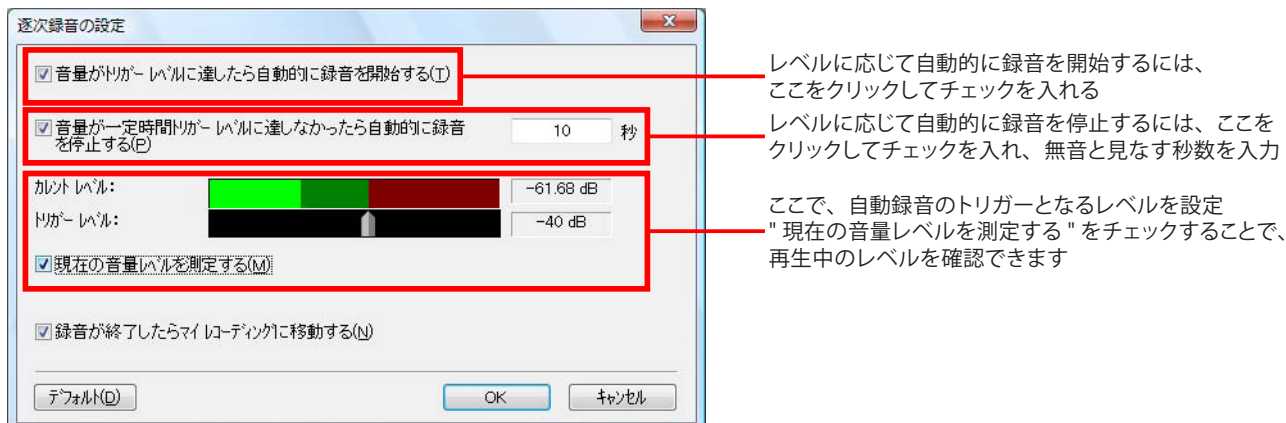
5. 録音するソースの一番音量の大きい個所を再生して、ピークメーターで確認しながら[録音レベルスライダー]で録音レベルを調節します。[解析]ボタンをクリックすることで、ソースのレベルに応じて自動的に[録音レベルスライダー]が左右に動きますので、適切な録音レベルになった時点で[解析終了]ボタンをクリックして解析を終了します。
6. 適切な録音レベルの解析が終了したら、[解析終了]ボタンをクリックします。
7. レベルの調整が完了したら[次へ]ボタンをクリックします。

ステップ 2/7: 録音時間の指定

このステップでは、録音時間と録音したデータの作業ファイルの保存場所を設定します。



8. [録音時間]の各ボックスで録音する時間の上限を設定します。[録音可能時間]には、ハードディスクの空き容量に応じた時間が自動的に表示されますが、ソフトウェア上の仕様により、3 時間以上の録音は行えません。従って最大でも 3 時間以内に設定してください。
9. [自動録音の設定]ボタンをクリックすることで、再生信号のレベルに応じて、自動的に録音開始 / 停止が可能になります。



10. [参照]ボタンをクリックして、作業ファイルの保存場所を設定したら、[録音]ボタンをクリックすることで、録音が始まります。

注意: [録音ウィザード]ではステップ途中でファイルの分割やクリーンアップを行い、最後の段階でファイルフォーマットを指定する都合上、作業ファイルを使用します。このため、最終的に保存するファイルと、作業ファイルの保存場所を同一ドライブにする際は、保存ドライブに作業領域と最終保存ファイルのための十分な空きディスクスペースが必要となります。最終ファイルの保存場所は空きディスクスペースに注意して指定してください。

ステップ3:トラックの録音 ～ ステップ4:トラック分割/クリーンアップの指定

ステップ 3/7:トラックの録音



11. 録音するソースの再生を開始します。

12. **【経過時間】**に現在の録音時間が表示されます。また**【残り時間】**には指定された録音時間までの残り時間が表示されます。

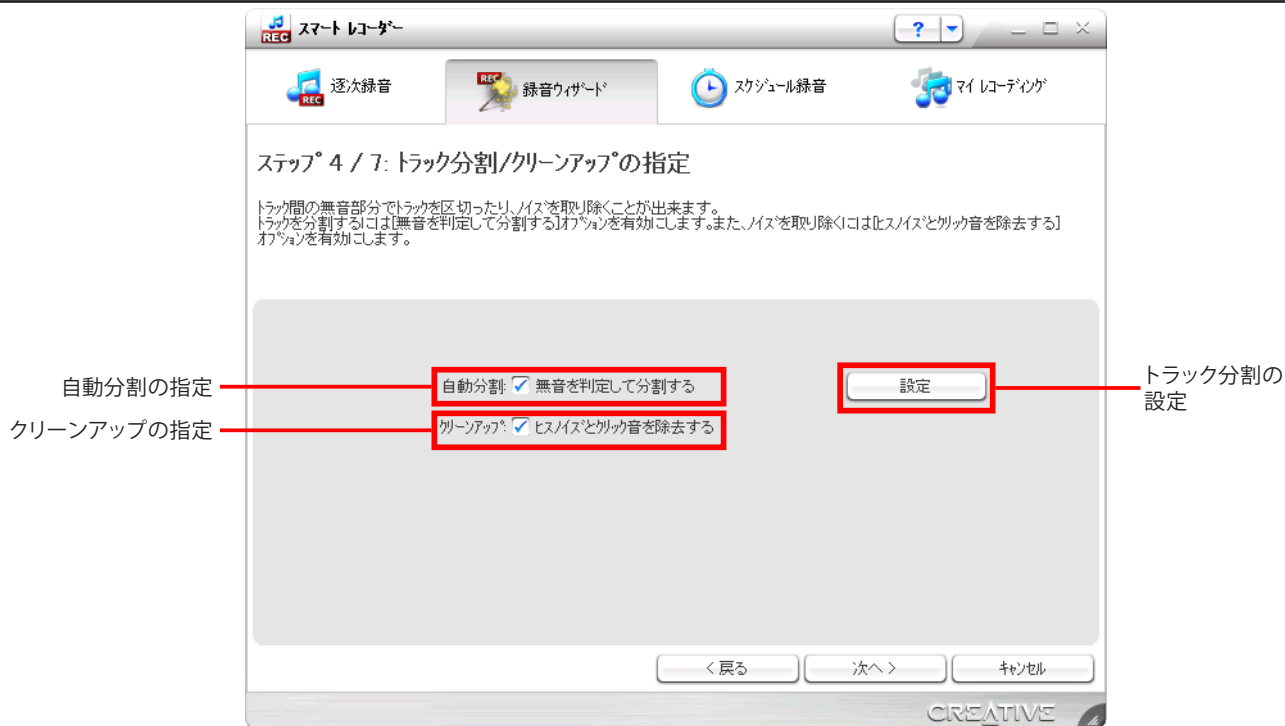
13. 録音したい分の再生が終わったら、画面下部の**【停止】**ボタンをクリックします。

ステップ 4/7:トラック分割 / クリーンアップの指定

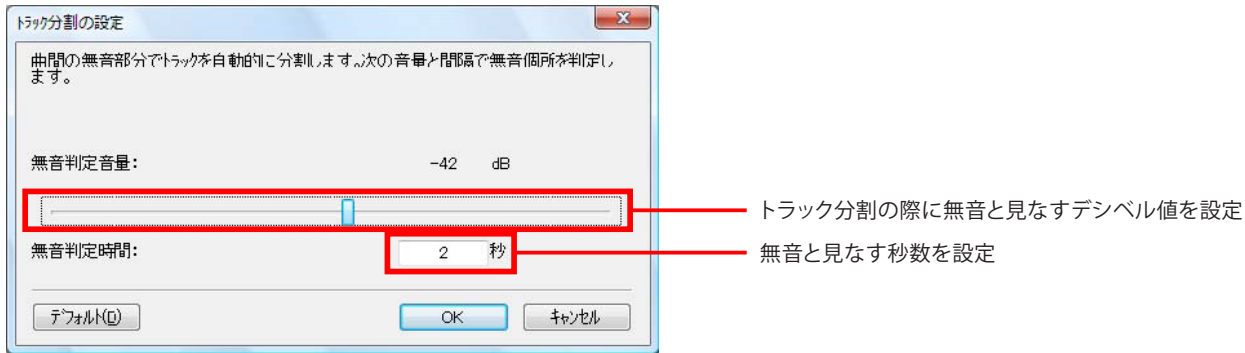
このステップでは、自動的にファイル内の無音部分を検出してトラックを分割するトラック分割と、録音したデータのノイズを取るクリーンアップを行うかどうかを指定します。

録音した音楽データはどのように保存される？

Smart Recorder で 1 回録音すると、録音したファイルは 1 つのファイルとして保存されます。カセットテープ 1 本やレコード 1 枚を録音した場合は 1 枚分の音楽が 1 つのファイルになります。このため、カセットテープやレコードに収録されている 1 曲ごとに 1 つのファイルを作成するには、曲と曲の間を探し、1 曲ずつ分割しなければなりません。Smart Recorder の自動トラック分割機能を使うことで、自動的に曲間の無音部分を検知してデータを分割し、1 曲ずつファイルを作成することができます。



14. [トラック分割の設定] ボタンをクリックすることで下図の画面が表示されます。



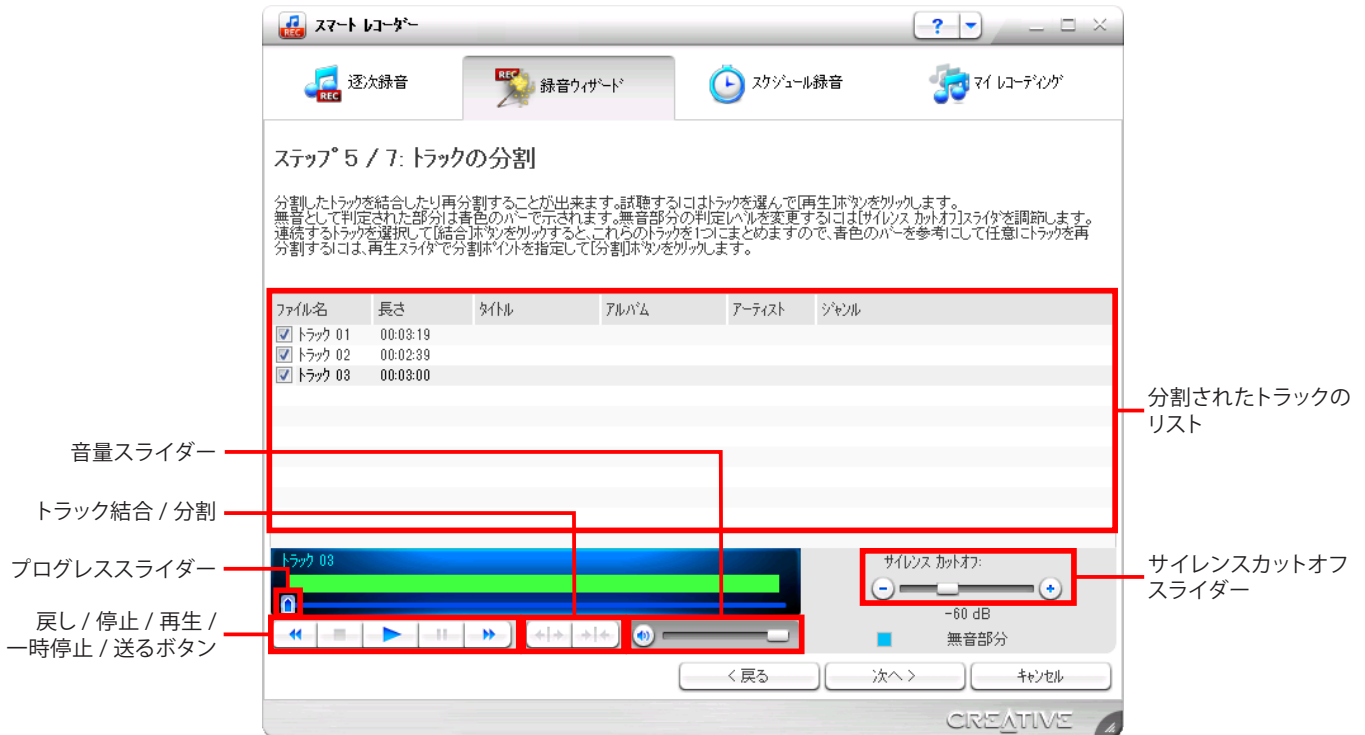
15. トラック分割の際に無音と見なすデシベル値を[スライダー]で設定し、[無音判定時間]に無音とみなす秒数を指定したら、[OK] ボタンをクリックしてこの設定画面を閉じます。

16. それぞれ実行したい機能にチェックを入れたら[次へ] ボタンをクリックします。

ステップ 5/7: トラックの自動分割

ステップ 4 でトラックの自動分割を指定していない場合、このステップは通過します。

ここでは、ステップ 4 で指定した設定に従って録音したファイルが各トラックに分割されます。トラック内で無音部分が検出できなかった場合は、単一のトラックとしてリストに表示されます。上部のリストからトラックを選択して[再生] ボタンをクリックすることで、それぞれのトラックを確認することができます。



17. トラック分割が適切に為されていない場合、[戻る] ボタンをクリックしてステップ 4 に戻り、再度トラック分割の設定を調節します。

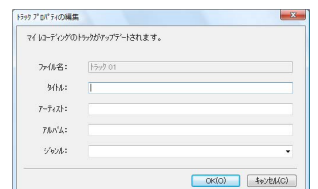
18. トラックの分割および結合を手動で行うこともできます。本来 1 つのトラックが複数に分割されてしまっている場合には、リスト上で連続したトラックを選択し、[結合] ボタンをクリックします。複数のトラックを選択するには、コンピュータキーボードの Shift キーを押しながら各トラックをクリックします。

19. 複数のトラックが 1 つのトラックになってしまっている場合には、[プログレススライダー]を分割したい位置に移動して[分割] ボタンをクリックします。また画面右下の[サイレンスカットオフスライダー]でトラック内の無音とみなす音量を再設定することができます。

20. リスト内のトラックの「ファイル名」をダブルクリックすることで、各曲のタイトルを入力することができます。

21. また、各トラックを右クリックし、表示される「トラックプロパティの編集」を選択することで、各トラックの情報を変更することができます。これらの項目を入力しておくことで、MP3 ファイル形式で保存した場合に、デジタルオーディオプレーヤーなどでトラック情報が表示されるようになります(トラックのプロパティ編集画面の内容については次ページを参照してください)。

22. それぞれのトラックの分割が適切に完了できたら、[次へ] ボタンをクリックします。



ステップ 6: トラックのクリーンアップ

トラックプロパティの編集画面では、以下の項目を設定可能です：

- ・ タイトル [マイレコーディング] パネル上で表示される曲のタイトルになります。
- ・ アーティスト [マイレコーディング] パネル上で表示されるアーティスト名になります。
- ・ アルバム [マイレコーディング] パネル上で表示されるアルバム名になります。
- ・ ジャンル [マイレコーディング] パネル上で表示される音楽ジャンルになります。

ステップ 6/7: トラックのクリーンアップ

ステップ 4 でトラックのクリーンアップを指定していない場合、このステップは通過します。

ここでは、録音したファイルに含まれるのヒスノイズ(カセットテープに含まれる "サー" や "シャー" という高周波ノイズ)やクリック音(レコード盤のチリなどによる "ブツブツ" 音)を除去することができます。上部のリストからトラックを選択して[再生] ボタンをクリックすることで、それぞれのトラックを確認することができます。



23. ファイルにヒスノイズやクリック音が含まれてしまっている場合、[ヒスノイズとクリック音を除去する] チェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

24. [クリックレベルスライダー] を動かしてクリック音の除去度合いを調節します。

25. [ヒスノイズレベルスライダー] を "30%" 前後の位置に、[オリジナルヒスノイズスライダー] を左端に調節します。

26. [再生] ボタンをクリックしてトラックを再生しながら、ヒスノイズが最小になるレベルまで[オリジナルヒスノイズスライダー] をゆっくりと右に動かします。

27. 必要に応じて、さらにヒスノイズが低減されるレベルにまで[ヒスノイズレベルスライダー] を少しずつ右に動かします。

28. トラックのヒスノイズやクリック音が除去できたら[次へ] ボタンをクリックします。

ステップ 7/7: トラックの保存

ここでは録音し、分割 / クリーンアップしたトラックの最終的な保存フォーマットを指定します。



29. オリジナルの音楽 CD を作成する際に変換などの余計な手間が掛からない CD クオリティの音楽ファイルを保存する場合、フォーマットに **"Wave、ステレオ"**、サンプリング周波数に **"44.100"**、サンプリングビットは **"16"** に設定します。またデジタルオーディオプレーヤーなどで手軽に聞く場合には、**"MP3"** フォーマットを選択します。

音楽ファイルのクオリティについて

サンプリング周波数を大きくする程、音の解像度がより細くなり特に高音域まで正確に録音できます。またサンプリングビットを大きくする程、より大きなダイナミックレンジの対応でき、元々の信号に忠実となります。しかしながら、どちらも値を大きくすることで、保存されるファイルサイズも大きくなり、より多くのハードディスク容量を必要とします。サンプリング周波数 44.1kHz、サンプリングビット 16 ビットの Wave フォーマットは一般の音楽 CD と同じクオリティとなり、ステレオ音声で 1 分約 10MB のサイズになります。

MP3 ファイルって?

MP3 ファイルは人間が聞き取りにくい、または感じ取りにくい部分のデータを "間引く" ことで、ファイルサイズを圧縮して小さくすることができるファイルフォーマットです。一旦圧縮したファイルは、再度元のクオリティに戻すことはできないことから、この圧縮は非可逆圧縮と呼ばれています。

30. **[参照]** ボタンをクリックして録音したファイルの保存場所を指定して、**[次へ]** ボタンをクリックします。

メモ

Apple iTunes® がインストールされている場合、**[iTunes ライブラリに追加]** チェックボックスにチェックを入れることで、保存した音楽ファイルが自動的に iTunes ライブラリに登録されます (Wave および MP3 フォーマットのみ)。

30. 分割された各トラックが保存されます。全てのトラックが保存されたら **[完了]** ボタンをクリックすることで、**[録音ウィザード]** は完了です。画面には **[マイレコーディング]** パネルが表示されます。なお、録音した音楽ファイルの保存場所は、**[マイレコーディング]** パネル上の **「パス名」** 欄で確認できます。

例: C:\¥Users ¥<ユーザー名> ¥マイレコーディング の場合、**[スタート]** > **[ミュージック]** または **[マイミュージック]** > **[マイレコーディング]** フォルダになります。

以上で Smart Recorder を使用した録音手順は終了です。このほか、Smart Recorder には一画面上で録音などを行える **[逐次録音]** 機能や、タイマーを利用した **[スケジュール録音]** 機能も搭載されています。録音作業に慣れたら、これらの機能も是非お試しください。また Smart Recorder 画面右上の **[ヘルプ]** メニューには、様々な機能の詳しい解説や手順が記載されていますので、一読されることをお勧めします。